

## 2022年度鶴見川クリーンセンター排ガス等測定結果

### ■ 鶴見川クリーンセンター1号汚泥焼却炉(30トン)排ガス夏期

(試料採取日: 2022年5月31日)

測定項目	単位	規制基準	測定値
ばいじん濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	g/m <sup>3</sup>	0.25以下	0.43
硫黄酸化物量	m <sup>3</sup> /h	17.8以下	0.006未満
窒素酸化物濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup>	250以下	69
塩化水素濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	mg/m <sup>3</sup>	700以下	6
全水銀濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	μg/m <sup>3</sup>	50以下	11
ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	10以下	0.0080

※鶴見川クリーンセンター30トン汚泥焼却炉について、大気汚染防止法施行規則第15条第3項かっこ書きにより、年1回以上の測定が適応されます。また、各濃度は標準状態(0°C、1気圧)の値です。

### ■ 鶴見川クリーンセンター2号汚泥焼却炉(60トン)排ガス夏期

(試料採取日: 2022年6月30日)

測定項目	単位	規制基準	測定値
ばいじん濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	g/m <sup>3</sup>	0.08以下	0.002未満
硫黄酸化物量	m <sup>3</sup> /h	20.7以下	0.02未満
窒素酸化物濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup>	250以下	6
塩化水素濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	mg/m <sup>3</sup>	700以下	2未満
全水銀濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	μg/m <sup>3</sup>	50以下	9.6
ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	1以下	0.000082

※各濃度は、標準状態(0°C、1気圧)の値です。

### ■ 鶴見川クリーンセンター2号60トン汚泥焼却炉(60トン)排ガス冬期

(試料採取日: 2022年12月23日)

測定項目	単位	規制基準	測定値
ばいじん濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	g/m <sup>3</sup>	0.08以下	0.002未満
硫黄酸化物量	m <sup>3</sup> /h	20.2以下	0.02未満
窒素酸化物濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup>	250以下	6
塩化水素濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	mg/m <sup>3</sup>	700以下	2未満
全水銀濃度 (酸素濃度12パーセント換算値)	μg/m <sup>3</sup>	50以下	5.8

※各濃度は、標準状態(0°C、1気圧)の値です。

### ■ 焼却灰

(試料採取日: 2022年8月22日)

測定項目	単位	規制基準	測定値
ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/g	3以下	0.0000081

※焼却灰は乾燥状態です。

### ■ 流動珪砂

(試料採取日: 2022年8月22日)

測定項目	単位	規制基準	測定値
ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/g	3以下	0

※流動珪砂は乾燥状態です。

### 用語解説

TEQ (Toxicity Equivalency Quantity) 毒性等量

ダイオキシン類の濃度は分析した実測値を元に最も毒性が強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性を1とし、他のダイオキシン類については毒性の係数を使って換算した数値の総和として表したものです。